

「つながる ひろがる」は、地域で活動する人、これから活動をはじめようとする人を応援する目的で、地域活動や参考になる制度等を紹介するため平成28年度から発行しています。平成29年度は、「地域の居場所づくりをはじめよう」をテーマに10月に開講した「いそご地域づくり塾」の講義概要を紹介しています。第3号では市内の居場所に訪問した第4・5回の内容をお伝えします。

いそご地域づくり塾…主催／磯子区役所・磯子区社会福祉協議会・NPO 法人れんげ舎【HP <http://isogo.bazukuri.jp/>】

第4回 現場訪問 ①もりのお茶の間(金沢区)H28年オープン

案内してくれた人…もりのお茶の間 事務局長 滝澤さん

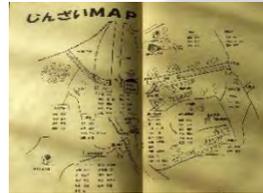


- 活動内容 喫茶、ランチ提供、高齢者や子育て支援、レンタルボックス（地域住民の手作り品販売）、住民の集いの場の提供など。
- 活動の経緯～どの様な思いで始めたの??～



1 約20年前、滝澤さんが、主任児童委員として活動する中で、子どもと大人が交流する機会を作り、地域ぐるみで子どもを育てたい！と考えるように。

2 「人材マップ」を核に、様々な活動が取り込まれ、活動拠点の必要性を感じる様に。同時に、高齢者や子育て世代の孤立化など地域で常設拠点のニーズが高まる。



◀人材マップ
音楽やスポーツなどの特技を持った登録者の名前を地図上に記載。

仲間5、6人と「親育ち子育て企画委員会※」を結成し、「人材マップ」を作成。

地区社協、自治会町内会の会長に拠点の必要性を熱心に伝え、地域全体で連携し、拠点づくりを進めた。

※数年後、地区社協の傘下に入り、「六浦東・地域子育て会」として活動中

- ◇地域リサーチ（回覧や口コミで…）常設の拠点で利用してみたいと思うものは何か、拠点の名前 など
- ◇拠点となる空家の耐震工事への住民の協力（工事資金調達、解体作業）
- ◇ヨコハマ市民まち普請事業の助成金を活用し整備

★ 滝澤さん 最初は、自分を分かってもらう人脈づくりが大切です！

受講生の感想 簡単ではなく、長年の実績からくるものだと思います。今の私にできることを一歩ずつやっていくしかないと思いをされました。

②サンタこども食堂(港南区)H28年オープン

案内してくれた人…サンタこども食堂 代表 吉田さん



- 活動内容「サンタこども食堂」を港南台の地域ケアプラザ、地区センターで月1回開設。中学生以下は無料、毎回約50食を提供。訪れた子どもたちは宿題をやったり、食堂中央のスペースで遊んだりできる。
- 活動の経緯～どの様な思いで始めたの??～



訪問した日の食事▶
彩り豊かで栄養満点！

吉田さんは、2000年にタイに移住し、養護施設「サンタの家」を開設。エイズ孤児、貧困家庭とその子ども等への生活支援などに取り組んだのち2013年に帰国。日本でもこども6人に1人が貧困という現状に衝撃を受け、子ども食堂の開設を決意！

- 場所探し：市内こども食堂、区役所に相談 → つながる 連携協力 → 地区社協、区社協、地区連合町内会、ケアプラザ、地区センター 場所を貸してくれた
- メンバー：元々の知り合いではなく、計画を進めるうちに有志が集まった
- 費用：立ち上げの費用・運営費は吉田さんの持ち出し 現在は寄付もあり

★ 吉田さん できるかできないかではなく、どうしたらできるか考えるゆとりが大事なことです。

受講生の感想 ・熱い思いが地域や社会を変えていくんだなと思いました。とにかくやってみる！
・思いがあったらスタートしよう！

第5回 現場訪問

ゆい カフェ

③ 結 café (磯子区)H29 年オープン

案内してくれた人…re net結 (結 café を運営)代表 平野さん

- 活動内容 ランチの提供、アトリエ小箱 (ハンドメイド作品の販売)、東北支援 (東北物産の販売)、My てーぶる (テーブルの時間貸しによる教室や講座の開催)、キャンドルナイトときっずマーケットの企画・運営、見守りの自主イベント、次世代まちづくりの拠点 など

●活動の経緯～どの様な思いで始めたの??～

- 1 平野さんが、小学校のPTA役員の時、仲間と資料作成や話し合いをしていたファミレスが閉店。地域の誰もが集え、ほっこりできる場所がほしいと感じた。
仲間と一緒に、場所に置く机のサイズ、照明等のイメージをノートに書き留めた。
ちょうど隣町にオープンしたコミュニティカフェで7年間働き、コミュニティとは何かを学び、地域で物事を進めていく順番を覚えた。
- 2 期間限定のコミュニティカフェを運営。利用者から「次はいつやるの?」と言われ、馴染みのお客さんが来ない日は、何かあったのか心配に。
見守りと常設の居場所づくりへの思いが強くなった。
- 3 仲間と通っていた居心地の良い料理屋さんを譲り受け、結 café をオープン
・費用は市の補助金の他、自分たちで賄った。
・店内の塗装は自分たちで。机などは地元の建設会社が協力してくれた。(地元のつながりを大切に…)
・1人ひとりのスタッフの得意なことを活かし助け合うことで実現。

★平野さん「このまちが好き!という心と、ずっと長く住んでいる人が作ってきた地域に感謝しながら進めることが大切です。」

受講生の感想 ずっと温めてきたものを学び・経験の積み重ねで開花させたと感じました。地域住民のニーズに応える場づくりであったと思いました。

④ みまもりの家(瀬谷区)H25 年完成

案内してくれた人…阿久和北部連合事務局長 清水さん

- 活動内容 歌声広場、健康マーじゃん、何でも相談室、お笑いライブ、こども食堂、グランドゴルフ大会、ラジオ体操 ※公園 (みまもり広場) を一体として使用した活動も含まれます。

●活動の経緯～どの様な思いで始めたの??～

- 1 自治会町内会、地区社協、区役所等地域が一体となって見守り合いの体制づくりを進める中で、平成 20 年、**地区内全世帯に見守り合いについてどう考えるかアンケート**を実施。
(自治会を通して配布と回収を依頼(回収率 78%))
 - 2 地区の真ん中にある公園は、見通しが良いが普段は閑散として活用されていないことに思いあたる。
人が集まる公園をイメージ…
こんな風景をつくりたい!
井戸端や縁側で楽しく"だべる"風景、子どもの遊びを温かく見守り、時に叱ってくれる大人
- ▶結果(地域の人の思い、悩み)
「いざという時は近所」、「災害・子育て・防犯等、地域で支え合うにはどうすれば良いか」、「福祉施設、集会施設等が少ない」、「買い物物が不便」など
- 住民の見守り合いを育て、日常的な福祉活動が進む土壌を作るため、**気軽に集える場所が必要**
- 公園に広い縁側を一体化した広いデッキ付きのログハウスを作ろう!
地域総出で拠点づくりを進めた
- ・輸入ログハウスを皆で手作り
 - ・光熱費は協力費などで賄う
 - ・ボランティアがスタッフとして活躍
 - ・ヨコハマ市民まち普請事業の助成金も活用

★ 清水さん「まちづくりに失敗はありません。退き下がることも失敗ではなく、留まることが失敗なのです。」

受講生の感想
・長い間の地域のつながりの深さを感じ素晴らしいものだと思います。
・地域がつながると希望が実現する大きなパワーになるのだなと感じました。

これまで発行した「つながる ひろがる」は区HPに掲載中です。区HPで「つながる ひろがる」を検索!

発行日 平成 30 年 2 月

発行元 磯子区役所区政推進課 地域力推進担当 TEL:045-750-2398、FAX:045-750-2533